令和８年７月教育委員会議定例会 議事日程

日　時　令和８年７月 31 日（金）
　　午前９時 30 分より
場　所　町民センター　２Ａクラブ室

１　開会宣言

２　署名委員の指名

３　教育長事務報告

４　付議事項
（１）議案第５号　令和８年度二宮町一般会計補正予算（第１号補正）について
（２）議案第６号　令和９年度小学校使用教科用図書採択について
（３）議案第７号　令和９年度中学校使用教科用図書採択について
（４）議案第８号　令和９年度小・中学校使用学校教育法附則第９条による教科用図書採択について

５　報告・協議事項
（１）令和８年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（令和７年度事業分）について
（２）令和９年２０歳のつどいについて
（３）二宮町立体育館 LED 照明設備賃貸借事業に係る受託候補者選定委員会設置要綱の制定について
（４）その他

＊　次回教育委員会議予定

６　閉会宣言

令和８年７月定例教育委員会議　教育長事務報告

（R８．６.26～R８．７.30）

月	日	曜日	内　　容
6	26	金	定例教育委員会議
			教育委員会学校訪問（山西小学校）
6	27	土	災害対策本部
6	28	日	二宮町退職校長会
			二宮演奏家協会２５周年記念公演
6	29	月	山西プール開設式
			図書館協議会
7	1	水	辞令交付式
7	2	木	小中学校校長会
			二宮小学校研究授業
7	3	金	学校運営協議会長等情報交換会
7	6	月	小中学校教頭会
7	7	火	政策会議
			学校給食センター運営委員会
7	9	木	神奈川県優秀授業実践教員授業観察（一色小学校）
			青少年問題協議会
7	10	金	中地区教職員組合教育予算回答交渉会
7	12	日	にのみやこどもフェスティバル
7	13	月	給食試食（二宮西中学校・夏野菜カレー）
7	16	木	平塚税務署長就任あいさつ
7	21	火	政策会議
7	22～23	水～木	教育福祉常任委員会視察研修（愛知県長久手市・岐阜県北方町）

月	日	曜日	内　　容
7	24	金	臨時議会
7	28	火	教育講演会
7	30	木	初任者研修会

７月政策会議結果報告

令和８年７月７日（火）開催分

【町長あいさつ】
　令和８年度の当初予算について、先月可決されたばかりだが、夏からは次年度の予算編成に向けて動き出すので、よろしくお願いしたい。

【主な付議案件】
１　令和９年度　国・県の施策・予算に対する政党要望について　（政策部）
【教育委員会に関する要望】
① 特別支援学級や不登校対応に係る加配定数の充実【継続】
②小中学校における医療的ケア看護職員の配置に伴う財政措置【継続】
　上記の項目で決定し、７月 14 日（火）から 24 日（金）の間に、県議会における４つの政党・会派とヒアリングまたは提出をする。

２　令和９年度予算編成スケジュール（案）について　（政策部）
・今年度は町長・町議選挙が 11 月にあるため、昨年度とスケジュールが変更になる。

【情報交換】
　特になし

令和８年７月 21 日（火）開催分

【町長あいさつ】
　暑い日が続くので、外作業やイベントなど熱中症に注意をお願いする。

【主な付議案件】
１　令和８年度二宮町教育委員会基本方針
・例年４月に公表しているが、本予算の可決に伴い令和８年度教育委員会基本方針を策定したので公表する。

２　二宮町立体育館ＬＥＤ照明設備賃貸借事業に係る公募型プロポーザルの実施について
・町立体育館で既にLED化されている体育室以外の照明器具をLED化するにあたり、設計・施工を含めたリース契約を公募型プロポーザルにより実施する。

【情報交換】
　特になし

教育総務課・教育指導課事業報告

事業報告　（令和８年６月26日～令和８年７月30日）

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
6月26日	金	小学校英語教育研修会	一色小学校	―
7月2日	木	校長会	町民センター	14
7月3日	金	学校運営協議会長等情報交換会	町民センター	16
7月6日	月	教頭会	町民センター	14
7月8日	水	共同学校事務室	二宮中学校	7
7月15日	水	学校給食・食育担当者会	給食センター	8
7月16日	木	学校事務連携会議	町民センター	7
7月17日	金	小中学校終業式	―	―
7月22日	水	支援教育補助員研修会	町民センター	30
7月22日	水	共同学校事務室	二宮中学校	7
7月27日	月	救命講習①	二宮町消防署	―
7月27日	月	学校研究担当者会	教育支援室	6
7月28日	火	教育講演会	ラディアン	250
7月29日	水	教職員健康診断	町民センター	―
7月30日	木	救命講習②	二宮町消防署	―
7月30日	木	初任者研修会（施設見学等）	教育支援室 心泉学園	8

事業予定　（令和８年７月31日～令和８年８月28日）

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
7月31日	金	小中一貫ｶﾘｷｭﾗﾑﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ	各校／オンライン	―
8月17日	月	初任者研修会(学級経営等)	町民センター	8
8月17日	月	道徳教育研修会	町民センター	15
8月17日	月	学校事務連携会議	町民センター	7
8月18日	火	初任者研修会(メンタルヘルス等)	町民センター	8
8月18日	火	幼保こ小研修会	町民センター	50
8月21日	金	校長会	町民センター	14
8月24日	月	救命講習③	二宮町消防署	―
8月24日	月	情報教育研修会	町民センター	12
8月26日	水	共同学校事務室	二宮中学校	7
8月26日	水	タブレット研修会	二宮西中学校	20
8月27日	木	タブレット研修会	二宮小学校／二宮中学校	40/40
8月28日	金	タブレット研修会	一色小学校／山西小学校	17/25

学校給食センター

事業報告　（令和８年６月26日～令和８年７月30日）

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
7月7日	火	第１回学校給食センター運営委員会	町民センター	16
7月13日	月	【地場産デー（二宮産バージョン）～二宮産☆夏野菜カレーpart2】 栄養士食育放送	二宮西中学校	-
7月14日	火	中学校　１学期給食終了	－	-
7月15日	水	小学校　１学期給食終了	－	-

事業予定　（令和８年７月31日～令和８年８月28日）

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
8月28日	金	２学期給食開始準備	給食センター	-

生涯学習課事業報告

（令和8年6月26日～7月30日）

月/日	曜日	会　議　・　行　事　等	開　催　場　所	定員	出席者/人数	担当班
6/26	金	放課後子ども教室（山西小④1,3,5年生）	山西小学校	62名	56名	学習
6/28	日	休日放課後子ども教室（一色小③）	一色小学校	93名	35名	学習
6/29	月	図書館協議会	町民センター 3Aクラブ室	8名	8名	図書館
6/29	月	山西プール開設式	山西プール	－	8名	スポーツ
7/3	金	町民大学講座「健康マージャン講座」 4回講座　7/10，7/31，8/7	ミーティングルーム2	20名	16名	学習
7/4	土	土曜日のちいちゃいおはなし会	図書館 おはなしのへや	－	23名	図書館
7/8	水	ちいちゃいおはなし会	図書館 おはなしのへや	－	10名	図書館
7/9	木	青少年問題協議会	町民センター 3Aクラブ室	9名	7名	学習
7/11	土	町民大学講座「盆踊りを覚え楽しく踊ろう」 2回講座　7/18	ミーティングルーム2	20名	17名	学習
7/17	金	わらべうたであそぼう！	和室	15組	9組	図書館
7/18	土	おはなし会	図書館 おはなしのへや	20名	16名	図書館
7/19	日	相続・遺言講座 （神奈川県行政書士会 講師派遣事業）	ミーティングルーム2	40名	38名	図書館
7/25	土	第２回青少年指導員連絡協議会	ミーティングルーム2	14名	7名	学習
7/25	土	町民大学講座「ポジティブコミュニケーション講座　気持ちが伝わる！聞く力・話す力の	ミーティングルーム1	15名	17名	学習
7/26	日	町民大学講座「七つの脳を探せ！～感じて気づく、ひらめき研究室～」	ミーティングルーム2	20名	32名	学習
7/26	日	夏休み！ 図書館お仕事体験 （午前、午後2回実施）	図書館	各回4名	8名	図書館
7/29	水	放課後子ども教室（二宮小④全学年）	ラディアン	247名	108名	学習
7/30	木	放課後子ども教室（二宮小⑤全学年）	ラディアン	247名	85名	学習

生涯学習課事業予定

（令和8年7月31日～8月27日）

月/日	曜日	会　議　・　行　事　等	開　催　場　所	開始時間	担当班
7/31	金	放課後子ども教室（二宮小⑥全学年）	ラディアン	10:00	学習
8/2	日	野地裕美さん講演会 「子どもと本をつなぐために」	ミーティングルーム2	14:00	図書館
8/5	水	ちいちゃいおはなし会	図書館 おはなしのへや	10:30	図書館
8/6	木	放課後子ども教室（二宮小⑦全学年）	ラディアン	10:00	学習
8/7	金	放課後子ども教室（二宮小⑧全学年）	ラディアン	10:00	学習
8/7	金	町民大学講座「健康マージャン後期」計4回	ミーティングルーム2	13:30	学習
8/14	金	社会教育委員会議	ミーティングルーム1	13:30	学習
8/15	土	こわ～いおはなし会（8月分おはなし会）	図書館	18:00	図書館
8/18	火	二宮町立体育館LED照明設備賃貸借事業 プロポーザル審査会	町民センター	10:30	スポーツ
8/21	金	わらべうたであそぼう！	和室	10:00	図書館
8/22	土	ふたみ記念館　夏休みワークショップ	ふたみ記念館	9:00	学習
8/22	土	図書館事業『親子で学ぶおこづかい教室』 （協力：J-FLEC）①1，2年生　②3，4年生	ミーティングルーム2	①10：00 ②14：00	図書館
8/25	火	放課後子ども教室（3校合同） ①奇数学年　②偶数学年	ラディアン	①10：00 ②13：30	学習
8/26(水)～30(日)		リサイクルコーナー	展示ギャラリー１	－	図書館
8/27	木	二宮西中学校　図書館職場体験	図書館	9:00	図書館

議案第５号

令和８年度二宮町一般会計補正予算（第１号補正）について

令和８年７月３１日提出

二宮町教育委員会
教育長　和田　智司

〔提案理由〕
令和８年度二宮町一般会計補正予算（第１号補正）について、二宮町議会定例会に上程するため提案する。

2　歳　入

15 国庫支出金

（単位：千円）

款	項	目	補正前の額	補正額	計	節 区分	節 金額	説明
15		国庫支出金	1,370,211	11,449	1,381,660			
	2	国庫補助金	238,193	11,449	249,642			
		1 総務費国庫補助金	65,881	11,449	77,330	3 地方創生臨時交付金	11,449	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　11,449
19		繰入金	423,177	1,063	424,240			
	1	基金繰入金	423,174	1,063	424,237			
		1 財政調整基金繰入金	345,009	1,063	346,072	1 財政調整基金繰入金	1,063	財政調整基金繰入金　1,063

3　歳　出

2 総務費

（単位：千円）

9		教育費	1,304,541	2,944	1,307,485	2,449			495		
	2	小学校費	94,882	2,944	97,826	2,449			495		
		1 学校管理費	88,913	2,944	91,857	2,449			495	14 工事請負費	2,944

○二宮小学校教育施設整備事業　1,181
冷水機設置工事　1,181
○一色小学校教育施設整備事業　918
冷水機設置工事　918
○山西小学校教育施設整備事業　845
冷水機設置工事　845

議案第６号

令和９年度小学校使用教科用図書採択について

令和８年７月３１日提出

二宮町教育委員会
教育長　和田　智司

〔提案理由〕
令和９年度使用教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定に基づき、二宮町公立小学校における教科用図書を、種目ごとに１種を採択するため提案する。

令和６年度～令和９年度使用　小学校教科用図書

教科・種目		発行者	発行者の番号略称
国　語	国　語	光村図書出版株式会社	38　光村
	書　写	光村図書出版株式会社	38　光村
社　会	社　会	教育出版株式会社	17　教出
	地　図	株式会社帝国書院	46　帝国
算　数	算　数	株式会社新興出版社啓林館	61　啓林館
理　科	理　科	株式会社新興出版社啓林館	61　啓林館
生　活	生　活	東京書籍株式会社	2　東書
音　楽	音　楽	教育出版株式会社	17　教出
図画工作	図画工作	日本文教出版株式会社	116　日文
家　庭	家　庭	東京書籍株式会社	2　東書
体　育	保　健	株式会社 Gakken	224　学研
外国語	英　語	光村図書出版株式会社	38　光村
特別の教科 道徳	道　徳	東京書籍株式会社	2　東書

令和9年度使用教科用図書発行者・発行数一覧

□小学校教科用図書発行者一覧

国　語 3者	書　写 3者	社　会 3者	地　図 2者	算　数 6者
東京書籍 教育出版 光村図書出版	東京書籍 教育出版 光村図書出版	東京書籍 教育出版 日本文教出版	東京書籍 帝国書院	東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 新興出版社啓林館 日本文教出版

理　科 6者	生　活 7者	音　楽 2者	図画工作 2者	家　庭 2者
東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 信州教育出版 新興出版社啓林館	東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 信州教育出版 光村図書出版 新興出版社啓林館	教育出版 教育芸術社	開隆堂出版 日本文教出版	東京書籍 開隆堂出版

保　健 6者	英　語 6者	道　徳 6者		
東京書籍 大日本図書 大修館書店 文教社 光文書院 Gakken	東京書籍 開隆堂出版 三省堂 教育出版 光村図書出版 新興出版社啓林館	東京書籍 教育出版 光村図書出版 日本文教出版 光文書院 Gakken		

参　考

※令和８年５月 30 日議決

令和９年度二宮町立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針

二宮町教育委員会は、神奈川県教育委員会が定めた「令和９年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針」に則り、令和９年度に使用する教科用図書の採択方針を定める。

１　採択権者の責任において、公明・適正を期し、採択する。

２　各発行者が作成する「教科書編修趣意書」、神奈川県教育委員会の「教科用図書調査研究の結果」等を踏まえ、学習指導要領に基づいて調査研究し、二宮町教科用図書採択検討委員会の協議内容を参考にし、採択する。

３　学校、児童・生徒、地域等の特性を考慮して採択する。

４　小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書については、学習指導要領に定められた各教科の目標や児童・生徒の発達の段階や障がいの状態及び特性に応じ、教育目標の達成上適切なものを採択する。

議案第７号

令和９年度中学校使用教科用図書採択について

令和８年７月３１日提出

二宮町教育委員会
教育長　和田　智司

〔提案理由〕
令和９年度使用教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定に基づき、二宮町公立中学校における教科用図書を、種目ごとに１種を採択するため提案する。

令和７年度～令和 10 年度使用　中学校教科用図書

教科・種目		発行者	発行者の番号略称
国　語	国　語	光村図書出版株式会社	38 光村
	書　写	光村図書出版株式会社	38 光村
社　会	地　理	株式会社帝国書院	46 帝国
	歴　史	株式会社帝国書院	46 帝国
	公　民	株式会社帝国書院	46 帝国
	地　図	株式会社帝国書院	46 帝国
数　学	数　学	東京書籍株式会社	2 東書
理　科	理　科	株式会社新興出版社啓林館	61 啓林館
音　楽	一　般	株式会社教育芸術社	27 教芸
	器　楽	株式会社教育芸術社	27 教芸
美　術	美　術	光村図書出版株式会社	38 光村
保健体育	保健体育	株式会社 Gakken	224 学研
技　術 家　庭	技　術	東京書籍株式会社	2 東書
	家　庭	教育図書株式会社	6 教図
外国語	英　語	光村図書出版株式会社	38 光村
特別の教科 道徳	道　徳	東京書籍株式会社	2 東書

令和9年度使用教科用図書発行者・発行数一覧

□中学校教科用図書発行者一覧

国　語 4者	書　写 4者	地理的分野 4者	歴史的分野 9者	公民的分野 6者	地　図 2者
東京書籍 三省堂 教育出版 光村図書出版	東京書籍 三省堂 教育出版 光村図書出版	東京書籍 教育出版 帝国書院 日本文教出版	東京書籍 教育出版 帝国書院 山川出版 日本文教出版 自由社 育鵬社 学び舎 令和書籍	東京書籍 教育出版 帝国書院 日本文教出版 自由社 育鵬社	東京書籍 帝国書院

数　学 7者	理　科 5者	音楽（一般） 2者	音楽（器楽合奏） 2者	美　術 3者	保健体育 4者
東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 新興出版社啓林館 数研出版 日本文教出版	東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 新興出版社啓林館	教育出版 教育芸術社	教育出版 教育芸術社	開隆堂出版 光村図書出版 日本文教出版	東京書籍 大日本図書 大修館書店 Gakken

技術分野 3者	家庭分野 3者	外国語（英語） 6者	道　徳 7者		
東京書籍 教育図書 開隆堂出版	東京書籍 教育図書 開隆堂出版	東京書籍 開隆堂出版 三省堂 教育出版 光村図書出版 新興出版社啓林館	東京書籍 教育出版 光村図書出版 日本文教出版 Gakken あかつき教育図書 日本教科書		

議案第８号

令和９年度小・中学校使用学校教育法附則第９条による教科用図書採択について

令和８年７月３１日提出

二宮町教育委員会
教育長　和田　智司

〔提案理由〕

学校教育法附則第９条の規定により、教科用図書の特例として、特別支援学級で使用する教科用図書は、子どもの障害や発達の状況に応じて使用できることから、一般図書一覧等の中から教科用図書を採択するために提案する。

〇令和9年度　学校教育法附則第9条により使用する希望図書

小学校　国語

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	ドラえもんとやってみよう！ドラえもんはじめてのあいうえお	小学館	12-2	664
2	ドラえもんとやってみよう！ドラえもんはじめてのひらがな	小学館	12-2	665
3	生活図鑑カード　のりものカード	くもん出版	08-1	510
4	でんしゃでいこうでんしゃでかえろう	ひさかたチャイルド	27-3	D01
5	もじ・ことば1　はじめてのひらがな1集	くもん出版	08-1	A01
6	もじ・ことば7　ことばのおけいこ	くもん出版	08-1	505
7	おばけとホットケーキ	くもん出版	08-1	783
8	１日10分10歳までに身につけたい言葉力1100	学研	06-2	586
9	学研の頭脳開発5～6歳楽しみながら脳を活性化させるおんどくれんしゅうちょう（新装版）	学研	06-2	569
10	小学パーフェクトコース？に答える！小学国語改訂版	学研	06-2	571
11	学研の頭脳開発3～4歳楽しみながら脳を活性化させるおんどくれんしゅうちょう（新装版）	学研	06-2	623
12	ゆっくりていねいに学びたい子のためのひらがなワーク	喜楽研	57-22	513
13	ゆっくりていねいに学びたい子のための作文ワーク　初級1	喜楽研	57-22	516
14	ゆっくりていねいに学びたい子のための読解ワーク3-1	喜楽研	57-22	525
15	ゆっくりていねいに学びたい子のための読解ワーク4-1	喜楽研	57-22	527
16	ゆっくりていねいに学びたい子のための読解ワーク5-1	喜楽研	57-22	529
17	ゆっくりていねいに学べる国語教科書支援ワーク3-1	喜楽研	57-22	579
18	絵と音声で楽しく学ぶ国語教科書ことば支援ワーク1年2　児童のタブレットに配信できる【QRコードつき】	喜楽研	57-22	587
19	はじめてのなんどもかけるひらがなぶっく	パイインターナショナル	76-16	544
20	初級編ステップアップことば・もじ	こばと	10-9	603
21	チャイルドブックこども百科にほんごだいすきことばの図鑑	チャイルド本社	17-1	544
22	こどもかずの絵じてん増補新装版	三省堂	11-4	506
23	カっちゃん力がつくたべものカタカナあいうえお	リーブル	40-3	515
24	ゆっくり学ぶ子のためのこくご３	同成社	20-5	A03
25	小学校6年生までに必要な作文力が1冊でしっかり身につく本	かんき出版	56-29	509

小学校　社会

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	こどもぼうさい・あんぜん絵じてん	三省堂	11-4	559
2	ドラえもんちずかん1　にっぽんちず	小学館	12-2	C01
3	知育えほんマークのずかん	鈴木出版	13-2	A05
4	こども日本の歴史	祥伝社	62-71	501
5	そうだったのか！まちのひみつ図鑑	チャイルド本社	17-1	572
6	社会科常識シリーズ　NEW　日本列島ジグソー	学研	06-2	528
7	るるぶ　都道府県がよくわかる日本地図パズル	JTB	62-56	

小学校　算数

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	かずとすうじのでんしゃじてん	視覚デザイン	12-10	517
2	指さし・指なぞり123かず	ひかりのくに	27-1	518
3	つんでならべてちえキューブ	ポプラ	30-2	598
4	ゆっくりていねいに学べる　どの子もわかる算数プリント2-2	喜楽研	57-22	542
5	ゆっくりていねいに学べる　どの子もわかる算数プリント3-1	喜楽研	57-22	543
6	ゆっくりていねいに学べる　どの子もわかる算数プリント4-1	喜楽研	57-22	545
7	ゆっくりていねいに学べる　どの子もわかる算数プリント4-2	喜楽研	57-22	546
8	ゆっくりていねいに学べる　どの子もわかる算数プリント5-1	喜楽研	57-22	547
9	ゆっくりていねいに学べる　どの子もわかる算数プリント6-1	喜楽研	57-22	549
10	絵と図と映像で楽しくわかるさんすう1-1　児童のタブレットに配信できる【QRコードつき】	喜楽研	57-22	588
11	絵と図と映像で楽しくわかるさんすう1-2　児童のタブレットに配信できる【QRコードつき】	喜楽研	57-22	589
12	ドラえもんとおぼえよう！とけいのえほん	小学館	12-2	850
13	親子で学ぼう！お金のえほん	チャイルド本社	17-1	578
14	かず・けいさん3　すうじおけいこ	くもん出版	08-1	558
15	めくりしかけえほんたのしいはじめてのさんすうえほん	大日本絵画	16-3	579
16	6年分を総復習！小学生の算数のおさらい　計算ドリル中学に上がる前に完全マスター	メイツ出版	84-4	549

小学校　理科

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	かいかたそだてかたずかん4　やさいのうえかたそだてかた	岩崎書店	02-1	C04
2	はじめてのからだえほん	パイインターナショナル	76-16	517
3	改訂新版体験を広げるこどものずかん4　はなとやさい・くだもの	ひかりのくに	27-1	I04
4	こどものずかんMio11やさい・くだもの	ひかりのくに	27-1	507
5	改訂版むしくらしとかいかた	ひかりのくに	27-1	564
6	福音館の科学シリーズ　道ばたの四季	福音館書店	28-1	G-04
7	キッズペディア科学館	小学館	12-2	771

小学校　音楽

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	音のでる知育絵本24脳科学からうまれたゆびゆびえほん	ポプラ	30-2	539
2	リズムにのってぽんぽんたいこ光る★音でる♪知育絵本	朝日新聞	51-6	522
3	おとがなるしかけえほん　にぎやかファームのおと	大日本絵画	16-3	580
4	おとがなるしかけえほん　どうぶつたちのオーケストラベートーベンをかなでる	大日本絵画	16-3	593

小学校　道徳

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	マナーやルールがどんどんわかる！新装改訂版みぢかなマーク	ひかりのくに	27-1	003
2	子どもの生活（3）マナーをきちんとおぼえよう！	偕成社	06-1	Q03
3	からだとこころのえほん2　けんかのきもち	ポプラ	30-2	572
4	発達協会式ソーシャルスキルがたのしく身につくカード　2こんなときどうする？	合同出版	10-8	561
5	絵でわかるこどものせいかつずかん1　みのまわりのきほん	合同出版	10-8	B01
6	絵でわかるこどものせいかつずかん3　おでかけのきほん	合同出版	10-8	B03
7	イラスト版コミュニケーション図鑑	合同出版	10-8	557
8	こどもマナーとけいご絵じてん	三省堂	11-4	538
9	おやくそくえほん　はじめての「よのなかルールブック」	日本図書	72-31	536

小学校　家庭

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん	ナツメ社	21-2	001

小学校　外国語

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	小学えいご絵じてん800新装三訂版	旺文社	05-3	550
2	おとのでる♪えいごのうたえほん	金の星社	07-2	606

○令和９年度　学校教育法附則第9条により使用する希望図書

中学校　国語

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	いっしょにあそぼ　あかあかくろくろ	学研	06-2	542
2	ゆっくりていねいに学びたい子のためのひらがなワーク	喜楽研	57-22	513
3	ゆっくりていねいに学びたい子のための読解ワーク3-2	喜楽研	57-22	526
4	ゆっくりていねいに学びたい子のための読解ワーク4-2	喜楽研	57-22	528
5	ゆっくりていねいに学べる国語教科書支援ワーク2-1	喜楽研	57-22	568
6	国語習熟プリント小学5年生大判サイズ	清風堂書店	64-2	510
7	10分間書く力がつくプリント低学年1・2・3年	清風堂書店	64-2	520
8	10分間書く力がつくプリント低学年4・5・6年	清風堂書店	64-2	521
9	ぶんカード1集	くもん出版	08-1	523
10	漢字にぐーんと強くなる小学3年生	くもん出版	08-1	651
11	漢字にぐーんと強くなる小学4年生	くもん出版	08-1	652
12	改訂新版くらしに役立つ国語	東洋館	20-7	002
13	中級編ジャンプアップ　こくごⅢ	こばと	10-9	607

中学校　社会（地理・歴史・公民）

No.	図書名	発行者略称		図書コード
1	も・や・し～！	ひかりのくに	27-1	527
2	いちばんわかりやすい　小学生のための学習世界地図帳	成美堂出版	14-4	003
3	いちばんわかりやすい　小学生のための学習日本地図帳	成美堂出版	14-4	004
4	こども日本の歴史	祥伝社	62-71	501

中学校　数学

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	かず・けいさん2　やさしいすうじ	くもん出版　08-1	557
2	くもんはじめてのえほん3　おおきいちいさい	くもん出版　08-1	778
3	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント5-1	喜楽研　57-22	547
4	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント5-2	喜楽研　57-22	548
5	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント6-1	喜楽研　57-22	549
6	ゆっくりていねいに学べる算数教科書支援ワーク2-1	喜楽研　57-22	572
7	つまずきをなくす小6算数文章題（改訂版）	実務教育出版　62-50	508
8	改訂新版くらしに役立つ数学	東洋館　20-7	003
9	上級編レベルアップ　お金と時計の文章題	こばと　10-9	619
10	陰山ドリル初級算数小学3年生	清風堂書店　64-2	547
11	陰山ドリル初級算数小学4年生	清風堂書店　64-2	548
12	とってもやさしい中1数学新装三訂版	旺文社　05-3	505

中学校　理科

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	じぶんでよめるいきものずかん	成美堂出版　14-4	548
2	改訂新版くらしに役立つ理科	東洋館　20-7	004
3	改訂新版体験を広げるこどものずかん8　あそびのずかん	ひかりのくに　27-1	I08

中学校　道徳

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	うれしいさんかなしいさん	東京子ども図書館　70-34	501

中学校　外国語

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	五味太郎のことばとかずの絵本　絵本ABC	岩崎書店　02-1	E02
2	ドラえもんはじめての英語図鑑	小学館　12-2	739
3	ドラえもんはじめての英語ドリル　基本の英語表現	小学館　12-2	774
4	英語のゲーム音であそぼう	三省堂　11-4	516

資料 No.1

二宮町教育委員会点検評価について

「教育委員会点検評価」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育行政の透明性の確保と説明責任を果たすことを目的として行われるものです。

二宮町教育員会評価点検については、令和 5 年度から二宮町教育委員会基本方針を全面的に見直したことに伴い、点検評価についても見直しを行いました。

評価点検の構成
第１章 総論（教育委員会の活動状況等、主要事業に対する総論）
第２章 教育委員会における主要事業　点検評価（教育総務課・教育指導課・生涯学習課）
第３章 外部評価意見

■スケジュールについて

７月定例会
・内部評価（案）の確認
※1　ご意見がある場合は、以下の期日までに、ご報告お願いします。
※2　報告方法　任意様式（メール本文への入力でも可）
教育総務課にメールで提出（kyoiku@town.ninomiya.kanagawa.jp）
※3　報告期日　令和８年８月 14 日（金）

８月定例会
・内部評価（案）の確定

９月
・外部評価委員による評価

10 月定例会（予定）
・二宮町教育委員会点検評価・確定

令和８年度（令和７年度施策・事業対象）

二宮町教育委員会点検及び評価報告書

令和８年（2026 年）●月

二宮町教育委員会

目次

はじめに・・・1

第１章　総論・・・3

第２章　教育委員会における主要事業　点検評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

■各施策及び評価担当課一覧

大綱・基本方針　１　豊かな人間性と社会性を育むとともに、自ら考え生きる力を育てます		
基本的な方向性　①　あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成		
（１）自ら学ぶ力を養うための教育の推進	教育指導課	6
基本的な方向性　②　将来に向けた特色ある学校づくりの推進		
（１）小中一貫教育の推進	教育指導課	8
（２）コミュニティ・スクール運営の促進	教育指導課	10
基本的な方向性　③　学校教育に関する情報発信の強化		
（１）情報発信の強化	教育総務課	11
大綱・基本方針　２　未来に向けた学習環境と安心して学べる教育環境づくりを進めます		
基本的な方向性　①　すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備		
（１）支援が必要な児童生徒への対応の充実	教育指導課	12
（２）教職員の働き方改革の推進	教育総務課	14
（３）教職員の指導力の向上	教育指導課	16
（４）安心して学べる学校施設の整備	教育総務課	18
基本的な方向性　②　安全・安心な学校づくりの推進		
（１）健康・安全教育の充実	教育総務課 教育指導課	19
基本的な方向性　③　将来に向けた特色ある学校づくりの推進（再掲　1-②）		
大綱・基本方針　３　町民が主人公となる、文化やスポーツなど生涯学習の振興を進めます		
基本的な方向性　①　生涯学習の振興		
（１）社会教育事業の推進	生涯学習課	21
（２）図書館事業の推進	生涯学習課	23
（３）二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供	生涯学習課	25
基本的な方向性　②　社会教育施設の管理運営		
（１）各施設の適切な維持管理と運営	生涯学習課	27
基本的な方向性　③　社会教育に関する情報発信の強化		
（１）情報発信の強化	生涯学習課	28

第３章　外部評価意見・・29

参考資料・・・30

はじめに

平成 19 年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」及び、「二宮町教育委員会点検及び評価実施要領」に基づき作成したものです。

1　点検及び評価の趣旨

(1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。

(2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢に明確に対応するとともに、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。

(3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係を保ちます。

2　点検及び評価の対象施策・事業

町の教育の総合的な指針である「二宮町教育大綱」に基づき、該当年度に取り組むべき施策及び主な事業を各年度の「二宮町教育員会基本方針」に位置づけ取り組みを進めています。また、基本方針では、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標として KGI（重要目標達成指標）を、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標として KPI（重要業績評価指標）を設定し、KGI と KPI の相関関係を意識しながら施策を推進しています。なお、指標の設定については、可能な限り成果指標（アウトカム）を前提とし、全国学力・学習状況調査や学校評価など、毎年度数値が図れるものを取り入れています。また、一部の関連施策については、横断的な連携やその効果を意識できるように、同じ指標を設定しているものもあります。

令和７年度施策・事業の点検・評価においては、令和７年度二宮町教育委員会基本方針に位置づけた施策及び事業を対象にし、KGI 及び KPI の進捗などを踏まえ評価を行っています。

3　点検及び評価の方法

(1) 教育委員会による点検及び評価

対象となる施策・事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。

(2) 外部による点検及び評価についての意見

外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4　点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

施策評価シートの見方

施策評価シート（ 令和6年度実績）

基本方向性	１－① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成

施策評価

施策	(１)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	評価者	教育指導課
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。 さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。		

主な関連事業		予算等事業名	＜参考＞行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	言語活動の充実【重点事業】	－	②想定レベル	学校研究等を軸にして、５校が一体となって推進することができた。
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	－	②想定レベル	ICT支援員と連携し、積極的かつ効的な活用をすすめることができた。
	3	英語教育推進事業【重点事業】	－	②想定レベル	英語の研修会で、小中学校の英語教育の り組みについて話し合うことができた。
	4	道徳教育・特別活動の充実	－	②想定レベル	９年間を見通しながら活動の充実を ることができた。

重要業績評価指標（KPI）①			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R5達成状況
指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）								
計画	小学校		80.5%	80.5%				85.0%	B
計画	中学校		87.1%	87.1%				90.0%	
実績	小学校			87.0%					
実績	中学校			75.3%					
指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査（小５～中３）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】								

重要業績評価指標（KPI）②			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R5達成状況
指標名	週３回以上、授業でICT機器を使用する割合								
計画	小学校		63.1%	63.1%				70.0%	A
計画	中学校		85.1%	85.1%				95.0%	
実績	小学校			78.4%					
実績	中学校			95.0%					
指標の見直し	－								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	・５校が一体となって取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。 ・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組み成果が出ている。
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用が十分ではない。 ・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見しが必要。 ・教科特性を踏まえた言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進
	改善点及び今後の方向性	・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジ生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学で外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。 ・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後備方針を定める。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策名と施策内容が記載されています。

二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策に紐づけている予算等事業名が記載されています。（そのうち、重点事業には下線を引いています）

各事業の重要業績評価指標（KPI）の達成に当たっての有効度合を下記の3段階で評価しています。（説明にはその理由を記載しています）
①限定的
②想定レベル
③想定以上

指標の達成状況を記載しています。（上段は計画値及び目標値、下段は実績値）
達成状況を下記の４つの区分で評価しています。
A 達成（100%以上）
B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）
D 未達成（50%未満）

上記の分析結果を踏まえ、施策の取り組みについて、「成果」「今後の課題」「改善点及び今後の方向性」を評価しています。

評価結果を踏まえ、施策の総合評価を下記の４つの区分で評価しています。
A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

第１章　総論

二宮町教育委員会は、効果的・効率的な教育行政の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、「二宮町教育委員会点検・評価報告書」をまとめました。

KGI（重要目標達成指標）の進捗は、基準値と比較し小学校は 4.8 の増加に転じました。一方で、中学校は 7.5 の減少となっています。中学校については基準値を下回っているものの、小学生は基準値を上回っていることから事業全体の取組状況等を踏まえ、令和７年度の取り組みは一定の成果を上げたものと評価しました。

評価対象 14 施策のうち、総合評価「Ａ評価（大いに成果が得られた）」は３事業、「Ｂ評価（おおむね適正に取り組めている）」は 11 事業、Ｃ評価（改善する必要がある）」は０事業、「Ｄ評価（事業の再検討が必要である）」は０事業という結果となりました。

事業全体としては、一部進捗が芳しくないものもありますが、進捗はおおむね順調であると考えられます。

令和５年度に教育大綱及び教育委員会基本方針を見直し、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標として KGI を、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標として KPI を設定し、全体を俯瞰して捉えられるシステムに変更しました。新たな評価システムのもと、施策の進捗を数値化し具体的な分析をできるようになった一方で、分析結果をより効果的に次のアクションへつなげられていないという課題が浮き彫りとなりました。

今後は、施策の推進をより実行性のあるものとするため、具体的な取組の表記に努め、取組を内外へ分かりやすく共有するとともに、ステークホルダー（利害関係者）との協働を意識しながら施策の推進を図ります。また、将来の不確実性が高まる中で、時代の変化や影響を的確に捉えていくため、指標は柔軟な視点で定期的に見直し、教育委員会基本方針と点検評価を連動させながら、着実に施策を進めていきます。

今後も、子ども達がこれからの時代を生きるために必要な資質・能力を育み、子どもから大人までのすべての人が「共に学び共に育つ教育」を実現できるよう、点検評価における外部評価等も踏まえながら、より一層の施策の推進を図ってまいります。

○KGI（重要目標達成指標）の進捗状況

学校教育・社会教育

項目	基準値	実績	比較	目標値（令和9年度）
将来に夢や目標を持っている児童生徒（肯定的な回答の割合）【全国学力・学習状況調査】	小学校 80.5% 中学校 69.6% （令和４年度実績値）	小学校 85.3% 中学校 62.1% （令和７年度実績値）	4.8 増↑ 7.5 減↓	小学校 85.0% 中学校 75.0%

○二宮町教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び４名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（令和７年４月１日現在）

職　名	委員名	任　期
教育長	和田（わだ）　智司（さとし）	令和６年４月１日 ～ 令和９年３月31日
教育長 職務代理者	杉本（すぎもと）　かお里（り）	令和４年10月１日 ～ 令和８年９月30日
委　員	古正（ふるしょう）　栄司（えいじ）	令和５年10月１日 ～ 令和９年９月30日
委　員	三好（みよし）　祐太（ゆうた）	令和６年10月１日 ～ 令和10年９月30日
委　員	藤原（ふじわら）　直彦（なおひこ）	令和７年12月23日 ～ 令和11年12月22日

○令和７年度の教育委員会の活動状況

令和７年度については、定例会・臨時会の教育委員会議での審議に当たり、各教育委員が幅広い立場から意見交換を行い、議論を深めました。また、学校訪問や教職員との意見交換等を行い、学校現場の把握と理解に努めました。

事業名等	内容	備考
定例会・臨時会	開催回数12回（定例会12回、臨時会０回） 議案件数58件（付議事項28件、報告・協議事項30件） 傍聴33名	
学校訪問	二宮小学校　（令和７年10月29日） 一色小学校　（令和７年11月７日） 山西小学校　（令和７年６月27日） 二宮中学校　（令和７年10月31日） 二宮西中学校（令和７年11月27日）	
教育委員会関係行事	・教職員等辞令交付式（令和７年４月１日） ・教職員等転退職者辞令交付式（令和８・年３月31日） ・各種研修	
総合教育会議	開催回数３回 第１回　令和７年５月29日 ・総合教育会議のテーマ設定について	

	第２回　令和７年８月 29 日 ・子どもの権利について ・不登校対策について 第３回　令和８年２月 29 日 ・子どもの権利について ・不登校対策について	

第２章　教育委員会における主要事業　点検評価

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	１－①　あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成

施策評価

施策	(１)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	評価者	教育指導課
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。 さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	言語活動の充実【重点事業】	－	②想定レベル	各教科のワーキンググループや学校研究を軸にして小中５校が共通して推進することができた。
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	－	②想定レベル	ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。
	3	英語教育推進事業【重点事業】	－	②想定レベル	英語教育担当者会で小中学校の教員が一緒に連続した英語教育の取り組について話し合うことができた。
	4	道徳教育・特別活動の充実	－	②想定レベル	９年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。
	5	読書機会の充実	－	②想定レベル	中学校では朝読書を推進することができた。
	6	学校体育の充実	－	②想定レベル	教科のワーキンググループを通じて、小学校の教員が中学校の教員の指導を受けて指導力の向上を図った。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	84.0%	80.5%	81.6%	82.7%		85.0%	B
計画	中学校	86.0%	87.1%	87.8%	88.1%		90.0%	
実績	小学校		87.0%	87.4%	87.9%			
実績	中学校		75.3%	89.8%	86.8%			
指標の見直し		―						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	75.0%	65.6%	66.7%	67.8%		80.0%	B
計画	中学校	78.0%	83.5%	85.1%	86.7%		80.0%	
実績	小学校		72.2%	80.1%	81.1%			
実績	中学校		78.0%	74.1%	84.7%			
指標の見直し		―						

重要業績評価指標（KPI）③	指標名	学校の勉強がよくわかる						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	89.0%		89.0%	-		95.0%	評価不可
計画	中学校	86.0%		86.0%	-		90.0%	
実績	小学校			91.0%	-			
実績	中学校			83.0%	-			
指標の見直し		令和７年度は、神奈川県からの事業委託は受けていないため評価不能						

重要業績評価指標（KPI）④	指標名	週３回以上、授業でICT機器を使用する割合						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	63.1%	63.1%	64.8%	66.5%		70.0%	B
計画	中学校	85.1%	85.1%	87.6%	90.1%		95.0%	
実績	小学校		78.4%	64.4%	72.1%			
実績	中学校		95.0%	94.0%	95.8%			
指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）⑤	指標名		学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	92.3%	92.3%	93.0%	93.7%		95.0%	B
		中学校	96.9%	96.9%	97.2%	97.5%		98.0%	
	実績	小学校		97.2%	87.5%	87.4%			
		中学校		95.5%	86.0%	-			
	指標の見直し		学力学習状況調査において「ITC機器の活用　楽しみながら学習を進めることができる」に指標としていたが、令和７年度学力学習状況調査において中学生について設問が削除されたため、評価不能						
重要業績評価指標（KPI）⑥	指標名		中学３年生のCEFR A1レベル（英語検定３級レベル）相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	中学校	45.0%	42.6%	44.5%	46.4%		50.0%	B
	実績	中学校		17.7%	33.1%	25.9%			
	指標の見直し		―						

達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・５校の小中学校の教員が各教科ごとにワーキーンググループを通して教科研究に取り組むことで、9年間を見通した授業づくりに取り組んでいる。 ・小中学校の教員が異校種で行われている英語教育の研修や研究授業に参加し、小中一貫した指導方法の研究を実施、また外国語や外国文化に親しむために小学校１年生からALTの派遣を行い、各小学校でイングリッシュデーを開催した。
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用され、英語検定３級のみならず、準２級以上に挑戦する生徒が増加した。 ・言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進
	改善点及び今後の方向性	・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、外国語や外国語文化に親しむ機会の充実を目指さして、各小学校でイングリッシュデイを開催することができた。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり、ICT環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。
	総合評価	B

総合評価：A　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	１－② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進

施策評価

施策	(1)小中一貫教育の推進	評価者	教育指導課
施策内容	子どもたちの資質能力を育成するために、小中学校教員による９年間のカリキュラム研究や、共通性と一貫性をもった学級づくり、授業づくりを推進します。また、施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、教育の内容や施設の在り方について研究を進めます。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】	－	②想定レベル	小中学校の教員による共同研究により、カリキュラムの連続性やつながりを意識した、教科指導を行えるようになった。
	2	かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「９年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	－	評価不可	令和７年度は、神奈川県からの事業委託は受けていないため評価不能
	3	施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】	－	②想定レベル	研究科からの提言書を受けて、教育委員を含めて教育委員会内で議論を行っている。
	4	郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】	－	②想定レベル	総合的な学習の時間を中心に郷土学習を進めることができた。
	5	小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	－	②想定レベル	にのみや学園通信を発行しHPに掲載することを通じて小中一貫教育の取り組みを発信している。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	89.0%	77.4%	78.1%	78.8%		94.0%	B
計画	中学校	77.0%	84.0%	84.3%	84.6%		82.0%	
実績	小学校		81.9%	82.2%	91.1%			
実績	中学校		74.2%	79.0%	77.4%			
指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	学校の勉強がよくわかる						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	89.0%		89.0%	-		95.0%	評価不可
計画	中学校	86.0%		86.0%	-		90.0%	
実績	小学校			91.0%	-			
実績	中学校			83.0%	-			
指標の見直し		令和７年度は、かながわ学びづくり推進地域研究委託事業を受けていないため評価不能						

重要業績評価指標（KPI）③	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	53.8%	53.8%	53.8%	55.3%		60.0%	B
計画	中学校	60.3%	60.3%	60.3%	63.5%		70.0%	
実績	小学校		62.5%	61.3%	62.7%			
実績	中学校		60.7%	65.0%	70.0%			
指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）④	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	62.1%	62.1%	64.1%	66.1%		70.0%	B
計画	中学校	58.3%	58.3%	60.0%	61.7%		65.0%	
実績	小学校		59.6%	52.4%	54.2%			
実績	中学校		49.4%	61.3%	58.5%			
指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）⑤	指標名	英語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	75.5%		75.5%	－		80.0%	評価不可
		中学校	60.7%		60.7%	－		65.0%	
	実績	小学校			71.2%	－			
		中学校			-	－			
	指標の見直し		令和７年度の学力学習状況調査では英語が未実施のため評価不能						
重要業績評価指標（KPI）⑥	指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	49.2%	49.2%	50.7%	52.2%		55.0%	B
		中学校	46.4%	46.4%	47.3%	48.2%		50.0%	
	実績	小学校		74.5%	79.6%	88.4%			
		中学校		62.4%	69.4%	71.5%			
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標（KPI）⑦	指標名	小中一貫教育の認知度							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画		37.6%	37.6%	40.7%	43.8%		50.0%	B
	実績			42.0%	46.4%	41.8%			
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標（KPI）⑧	指標名	中学校に授業や部活動の見学に行くことで、中学校生活への期待が高まったり不安が少なくなりましたか							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画				-	-			評価不可
	実績				77.0%	92.9%			
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・にのみや学園の取り組みについて、11月に二宮町の小中一貫教育について報告会を実施した。 ・小中交流会や小小交流会などにのみや学園プロジェクトを着実に進めることができた。 ・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など二宮町をテーマにした学習に一貫して取り組むことができた。 ・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組を周知することができた。
	今後の課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年、内容等を研究する。 ・にのみや学園の取り組みについて、にのみや学園通信発行しホームページで掲載を行い取り組みについて報告を実施しているが、十分伝わっていない。 ・教室での学びを日常生活や地域と関連付けることは深い学びへ導くために必要な手立てとなる。地域とのかかわりを大事にした教育活動を充実させるために、地域学校協働活動推進員と教員との連携を強化することが課題である。
	改善点及び今後の方向性	・にのみや学園プロジェクトを実施する際は、保護者や地域にも参観を呼びかける。 ・研究会からの提言書を受けて、今後の施設一体型小中一貫教育校設置に向け、引き続き教育委員を含め協議を続けていく。 ・学校運営協議会長等情報交換会にて、地域学校協働活動推進員と教員との連携について話題にして、好事例を共有する。 ・評価不可項目については、評価が可能となるよう、必要な体制整備や調査等を進める。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	１－② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進

施策評価

施策	(2)コミュニティ・スクール運営の促進	評価者	教育指導課
施策内容	各学校のコミュニティ・スクールの特色を相互に共有し、更なる活性化を図るとともに、学校運営協議会の円滑な運営により、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。		

主な関連事業		予算等事業名	＜参考＞行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	学校運営協議会の円滑な運営のための支援【重点事業】	－	②想定レベル	小中５校の学校運営協議会長等同士の情報交換会や課題の共有を行うことで連携することができた。
	2	地域との連携による児童生徒の活動の促進	－	②想定レベル	地域の人材が学校の教育活動の中に参加をすることで、教育活動の充実や地域の活性化につながった。
	3	コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進	－	②想定レベル	学校運営協議会の活動を通し、コミュニティ・スクールの周知を行い、協力者を募っているが、引き続き周知を行っている。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	地域の行事に積極的に参加している児童生徒　（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	68.6%	30.7%	68.6%	-		75.0%	評価不可
計画	中学校	48.3%	21.1%	48.3%	-		55.0%	
実績	小学校		－	68.6%	-			
実績	中学校		－	48.3%	-			
指標の見直し		令和７年度より学力学習状況調査の設問が「地域の大人に、授業や放課後など勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか」に変更されたため指標を変更する。						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画		21.4%	21.4%	21.4%	21.4%		30.0%	B
実績			22.9%	21.3%	21.2%			
指標の見直し		－						

達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	・各学校運営協議会の活動について各学校において学習協力者を募り地域の方が学校の活動に参加をしていただくことができた。 ・令和７年度については、夏休み中に行われた、放課後子ども教室についても小学校毎ではなく３校合同で開催を行うことができた。 ・各学校運営協議会の開催時に同じ中学校グループの協議会委員がオブザーバーとして参加することで、お互いの情報交換等を行い連携出来ることや課題について共有を行っている。
	今後の課題	・各学校運営協議会の活動を行っていく中で、協議会毎に活動内容や課題があるため、各学校運営協議会長等の情報交換会を定期的に開催することで、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知学校での活動を行うにあたり地域の方への認知を高めて行く必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・にのみや学園の学校運営協議会として向かうための活動内容や課題の共有および地域に対してのコミュニティスクールの周知活動を引き続き行っていく。
	総合評価	B

総合評価：　A　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	１－③ 学校教育に関する情報発信の強化

施策評価

施策	(１)情報発信の強化	評価者	教育総務課
施策内容	地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用	－	②想定レベル	様々な媒体を活用し、情報発信ができた。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	学校ホームページアクセス回数（５校合計の月平均）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	11,000回	23,000回	11,000回	11,000回		12,000回	C
	実績		10,000回	8,000回	9,500回			
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようと努めていると思う保護者の肯定的な割合（５校平均値）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	88.7%	88.7%	88.7%	88.7%		95.0%	B
	実績		88.5%	85.5%	86.7%			
	指標の見直し	－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	令和7年11月より二宮町公式LINEから学校ホームページへアクセスできるようにした。このことにより、令和6年度よりアクセス数は上昇したが、年度後半の改修だったこともあり令和5年度実績までは回復していない。
	今後の課題	学校ホームページにアクセスすることで保護者や地域にとって必要な情報を得られるような工夫をしていきながら、開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。
	改善点及び今後の方向性	学校ホームページ開設時から状況が変化しているため、アクセス回数を基準値の見直しを検討する。なお、月毎のアクセス数の差が大きいため、基準値の見直しにあたってはこのことを考慮する必要がある。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	２－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実	評価者	教育指導課
施策内容	誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。		

主な関連事業		予算等事業名	＜参考＞行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	教育相談体制（就学相談含む）の充実【重点事業】	－	②想定レベル	SC、SSWを各小中学校に配置し、児童生徒の困り事について、早期発見、早期対応できる体制を整えている。
	2	インクルーシブ教育・支援教育の充実【重点事業】	－	②想定レベル	各小中学校への支援教育補助員を配置、まなびの教室の運営など、多様な教育的ニーズに対応を行っている。
	3	幼保小連携推進事業	－	②想定レベル	スタートカリキュラムを意識した連携事業を実施
	4	支援教育補助員の配置	－	②想定レベル	令和７年度については、支援教育補助員を２名増進した。
	5	医療的ケア受入実施体制の確立	－	②想定レベル	医療的ケアを行う看護師を配置し、安心して学べる環境を整備している。
	6	中学校の制服の在り方の検討【重点事業】	－	②想定レベル	児童生徒や保護者等の意見を踏まえ令和８年度より新制服を導入

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	誰にも相談していない児童生徒数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	0人	0人	0人	0人		0人	B
計画	中学校	7人	7人	5人	3人		0人	
実績	小学校		4人	0人	1人			
実績	中学校		1人	1人	0人			
指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	困ったことがあれば先生に相談できると回答した児童生徒の割合（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	84.0%	60.0%	65.0%	70.0%		90.0%	B
計画	中学校	74.0%	65.5%	65.5%	70.3%		80.0%	
実績	小学校		64.2%	73.3%	80.0%			
実績	中学校		61.8%	57.0%	74.7%			
指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）③	指標名	新規不登校者数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	小学校	5人	5人	5人	5人		5人	A
計画	中学校	15人	15人	15人	１５人		15人	
実績	小学校		4人	1人	-5人			
実績	中学校		4人	0人	-11人			
指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）④	指標名	不登校率							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小　低	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%		0.9%	A
		小　高	2.1%	2.1%	1.7%	1.4%		2.1%	
		中学校	6.2%	6.2%	4.5%	2.8%		6.2%	
	実績	小　低		2.0%	0.9%	-1.4%			
		小　高		1.7%	1.1%	-0.3%			
		中学校		4.5%	0.8%	-1.7%			
	指標の見直し	―							

達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	・SC・SSWを常駐するなどの教育相談体制の強化やスクリーニング調査の実施による、児童生徒の困りごとに早期発見、まなびの教室、校内教育支援センターの設置等の重層的な支援体制を整えたことで、前年度と比較し不登校児童生徒数の割合が減少に転じた。 ・フリースクール等とのネットワーク会議を開催し、学校と関係機関の顔の見える関係づくりをすすめることができた。 ・医療的ケア実施に係るガイドラインに基づき、適切に医療的ケアを実施することができた。 ・幼保小の連携事業についてスタートカリキュラムについて幼稚園、保育園、小学校の教員が合同で研修を受けて認識の共有を図った。
	今後の課題	・町全体で不登校児童生徒は増加し続けている。すべての子どもを対象とした予防的対応とケースに応じた個別対応を組み合わせた現在の重層的支援を継続して行っていく。 ・通級指導教室、校内教育支援センター等の目的や内容を教職員全体で正しく理解して、一人ひとりに合った適切な支援体制を整備していく。 ・心理検査依頼件数が増加しており、検査体制について考え行く必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・現在、実施している通級指導教室、教育支援室「やまびこ」、校内教育支援センター「ほっとルーム」の開設等、重層的な支援体制を実施し児童生徒の多様なニーズに寄り添っていく。 ・受容的かつ共感的な学級集団づくりを推進する。 ・各教科のワーキンググループ等の中でカリキュラム研究を通じ魅力ある授業づくりをすすめる。 ・関係機関との連携やICTの活用等を通じた不登校児童生徒との関係づくりを進める。 ・幼保小連携事業の内容の充実を図る。
	総合評価	B

総合評価：A　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	２－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

施策評価

施策	(2)教職員の働き方改革の推進	評価者	教育総務課
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。		

主な関連事業		予算等事業名	＜参考＞行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	働く場としての環境整備【重点事業】	－	②想定レベル	校務支援システムなどのICT環境、SCなどのサポート人材の充実など、職場環境の改善の一助となっている。
	2	部活動の地域移行に向けた検証【重点事業】	－	③限定的	将来に向けて、部活動における条件の整理を開始できた。
	3	学校の運営に係る地域人材の活用【重点事業】	－	②想定レベル	地域の方の協力を得て、地域教育力を活用した授業が行えている。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	教職員の時間外勤務の月の平均時間						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	36.3時間	36.3時間	33.2時間	30.0時間		30.0時間	A
		中学校	58.4時間	58.4時間	58.4時間	55.5時間		30.0時間	
	実績	小学校		33.2時間	30.0時間	27.2時間			
		中学校		60.5時間	55.5時間	48.2時間			
	指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	教職員に占める高ストレス者の割合						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	13.2%	13.2%	10.3%	10.1%		10.0%	A
	実績		10.3%	10.1%	5.1%			
	指標の見直し	－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・教育相談・支援の充実として、専門的知識を有するSCやSSWを配置し、早期対応を行うできる環境整備を図った。 ・支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに対応するため、必要となるサポート人材として支援教育補助員を1名増員配置した。 ・校務支援システム、勤怠管理システム等のＩＣＴを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えた。 ・教諭の業務をサポートするために、スクールサポートスタッフを5校全校に1名ずつ配置した。 ・休日の部活動の段階的な地域移行に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証する。 ・教職員における業務量の適切な管理や健康の確保を目的として「二宮町立学校の教員の業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定を進めた。
	今後の課題	・不必要な業務や負担が軽減できそうな業務を洗い出し、対応方法を変える必要がある。（運営体制の見直し、教員をサポートする人材の確保　等） ・保護者から関心の高い分野については、なかなか見直しがしづらい。学校全体の業務の見直しのため、保護者や地域等の合意形成を図りつつ、優先順位を見直す。
	改善点及び今後の方向性	・働き方改革は多岐に渡るため、改善できることから一つ一つ取り組む。また、学校の意見を反映できるよう、校長会や安全衛生推進連絡会などで教職員の意見を聴取するとともに、各校の好事例などを５校に共有し、好循環を生む仕組みを作る。 ・学校現場の現状を保護者や地域と共有できるよう、情報の見える化を図る。そのために、学校だよりやHP、広報紙などの媒体以外にも、会議での紹介等、様々な機会を活用して周知を図る。
	総合評価	A

総合評価：Ａ　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
Ｂ　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
Ｃ　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
Ｄ　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	２－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

施策評価

施策	(3)教職員の指導力の向上	評価者	教育指導課
施策内容	教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題に対応して求められる資質や能力を育む授業づくりを行うために、各種研究事業の支援および職層・キャリアに応じた教員研修等の充実を図ります。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	「教職員授業力向上研究事業」の推進【重点事業】	－	②想定レベル	各校の状況にあった課題を設定し、授業や研修用を通じて力量形成を図ることができた。
	2	教育研究所における研修の充実	－	②想定レベル	生成AIが発展してきている中でことばの力、思考力や学力等の教育課題ついて研修を行った。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じていると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	84.0%	80.5%	84.0%	84.3%		85.0%	B
		中学校	86.0%	87.1%	86.0%	87.3%		90.0%	
	実績	小学校		87.0%	90.0%	87.9%			
		中学校		75.3%	89.0%	86.8%			
	指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	学校の勉強がよくわかる						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	89.0%		89.0%	－		95.0%	評価不可
		中学校	86.0%		86.0%	－		90.0%	
	実績	小学校			92.2%	－			
		中学校			81.7%	－			
	指標の見直し		令和７年度は、神奈川県からの事業委託は受けていないため評価不能						

重要業績評価指標（KPI）③	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	53.8%	53.8%	53.8%	55.3%		60.0%	B
		中学校	60.3%	60.3%	60.3%	63.5%		70.0%	
	実績	小学校		62.5%	61.3%	62.7%			
		中学校		60.7%	65.0%	70.0%			
	指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）④	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	62.1%	62.1%	62.1%	66.1%		70.0%	B
		中学校	58.3%	58.3%	58.3%	61.7%		65.0%	
	実績	小学校		59.6%	52.4%	54.2%			
		中学校		49.4%	61.3%	58.5%			
	指標の見直し		－						

重要業績評価指標（KPI）⑤	指標名	英語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	75.5%		75.5%	－		80.0%	評価不可
		中学校	60.7%		60.7%	－		65.0%	
	実績	小学校			71.2%	－			
		中学校			－	－			
	指標の見直し		令和７年度の学力学習状況調査では英語が未実施のため評価不能						
重要業績評価指標（KPI）⑥	指標名	先生はよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	86.7%	86.7%	86.7%	87.8%		90.0%	B
		中学校	92.7%	92.7%	92.7%	93.4%		95.0%	
	実績	小学校		91.5%	89.0%	96.3%			
		中学校		91.0%	92.5%	95.3%			
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・不登校支援、スタートカリキュラム、ICT活用など町の教育施策に応じた研修を実施することができた。 ・児童生徒の発達を支持する教員の肯定的なかかわり方が組織的に行えていることが数値にも現れている。また、小学校では、高学年を中心に教科担任制を推進し、教科指導の充実を図るとともに、児童の多面的理解に努めている。
	今後の課題	・働き方改革と教職員研修の両立を図ること。 ・多岐に渡る教育課題から必要な課題を厳選すること。
	改善点及び今後の方向性	・町の教育施策にあった研修内容を今後も計画する。 ・教育講演会については、引き続き、町民や保護者にも周知し、町全体で教育課題について理解しを深める機会とする。 ・各教科のワーキンググループ等の様々な研究を通じて、個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な実現を図る。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	２－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

施策評価

施策	(4)安心して学べる学校施設の整備	評価者	教育総務課
施策内容	「二宮町教育等施設長寿命化計画」（個別施設管理計画）に基づき、学校施設の計画的な修繕・改修を推進し、安全で安心できる教育環境の整備に努めます。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修【重点事業】	－	②想定レベル	Dランク判定の個所を計画的に改修ができた。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	「学校施設等現況調査」（令和２年度）におけるＤランク判定及び緊急対応箇所の改修割合						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	40.0%	40.0%	70.0%	80.0%		100.0%	A
	実績		66.7%	76.1%	95.2%			
	指標の見直し	－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	Dランク判定２１か所のうち２０か所について、工事又は修繕が完了した。 令和７年度はDランク判定となっていた二宮西中学校の屋根・屋上の工事を行った。
	今後の課題	令和８年度以降についても、引き続きDランク判定の箇所への対応を中心に、必要な教育環境の整備を実施していく。
	改善点及び今後の方向性	引き続きDランク判定を優先順位をつけて工事修繕を行うとともに、定期的な点検を行い、予防的工事修繕に取り組む。
	総合評価	A

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	２－② 安全・安心な学校づくりの推進

施策評価

施策	(１)健康・安全教育の充実	評価者	教育総務課・教育指導課
施策内容	防災教育や交通安全教育の充実に努めるとともに、二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、地域社会全体で児童生徒の安全確保を図ります。また、子どもたちの健やかな成長や将来的に健康な人生を送るための望ましい知識・習慣を身につける保健教育を充実させるとともに、安全でおいしい給食の安定的な提供を通じ児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実を図ります。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1	安全対策、安全教育	－	②想定レベル	通学路の合同点検を実施し、関係機関等との通学路の状況の共有や危険個所の把握を行い、対策等を図った。
	2	幼保小中一斉引取り訓練	－	②想定レベル	関係機関の協力をはかり、今年度も予定通り実施した。
	3	学校給食センターにおける取り組み【重点事業】	－	②想定レベル	学期に1回の地場産デーに合わせて栄養士による食育を実施することができた。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所＋合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	33箇所	33箇所	33箇所	33箇所		58箇所	B
	実績		31箇所	35箇所	37箇所			
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	毎日、朝食を食べている児童・生徒の割合							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	94.3%	94.3%	94.3%	94.8%		96.0%	B
		中学校	91.2%	91.2%	91.2%	91.8%		93.0%	
	実績	小学校		93.7%	96.9%	93.7%			
		中学校		92.7%	90.9%	89.5%			
	指標の見直し	－							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校の通学路の現状の把握を行い、8月に関係機関と通学路の合同点検を実施し、児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。 ・6月に幼保小中の一斉引き取り訓練を実施 ・学校給食において、地場産デーとして7月に栽培期間中農薬不使用のなすとピーマン、たまねぎを使用した「夏野菜カレー」、12月には小田原漁港で獲れたカマス、イサキ、イワシを使用した「字魚ハンバーグ」、2月に二宮産の原木しいたけを使用した「麻婆豆腐」を提供した。また、地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が7月には一色小学校、12月には二宮小学校、2月には山西小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をたっぷりと伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。
	今後の課題	・登下校の見守りについて、PTAや地域の方との情報共有
	改善点及び今後の方向性	・引き続き、通学路の安全点検を行い危険個所等の把握に努め対策等を行っていく。 ・小学校給食費に関する物価高騰分の支援を継続するとともに、小学校給食費の無償化について引き続き検討を行う。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	３－① 生涯学習の振興

施策評価

施策	(1)社会教育事業の推進	評価者	生涯学習課
施策内容	家庭・地域・学校が一体となって、未来を担う子どもたちの成長を支える学校支援、放課後子ども教室等の地域学校協働活動を推進します。 また、各種団体や地域と連携・協力し、町民が学習やスポーツなどの生涯学習活動に取り組む環境づくり、きっかけづくりを進めます。 これらを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、様々な人権問題についても研修会等を開催し、人権意識を育みます。		

主な関連事業

	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明
1	コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進【重点事業】	－	②想定レベル	地域学校協働活動推進員を中心に、地域と連携した特色ある活動がなされた。
2	各種団体との連携による事業実施、地域における学びの支援	－	②想定レベル	町民大学講座の実施や、地域における学びの充実が進んだ。
3	青少年の健全育成【重点事業】	－	②想定レベル	青少年指導員と連携し、各種事業を実施した。
4	人権教育の推進	－		
		－		

重要業績評価指標（KPI）①

指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度						
	基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	21.4%	21.4%	23.0%	21.4%		30.0%	B
実績		22.9%	21.3%	21.2%			
指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）②

指標名	放課後子ども教室の登録率及び延べ人数							
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	登録率	36.4%	36.4%	39.0%	41.0%		45.0%	B
	延人数	2873人	2873人	2873人	2873人		2873人	
実績	登録率		41.9%	41.1%	43.0%			
	延人数		2981人	2360人	2563人			
指標の見直し	KPI①の見直しによりR6実績より追加							

重要業績評価指標（KPI）③

指標名	にのみや町民大学の参加状況（申込者数/定員数）						
	基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
計画	91.1%	91.1%	94.0%	96.0%		100.0%	A
実績		96.2%	88.9%	116.4%			
指標の見直し	R6の教育委員の意見により、R6実績より追加						

重要業績評価指標（KPI）④	指標名	地域学校協働活動推進員が関わった学校の事業数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	23	23	31	38		50	A
	実績		44	49	55			
	指標の見直し	指標①の見直しにより、地域学校協働活動の進捗状況を測るため、R6実績より追加　※目標値については基準値（R4実績）を倍にし、端数を繰り上げて設定した。						

達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	・放課後子ども教室をはじめとする地域学校協働活動の推進に努めた。また、子ども会育成会連絡協議会、青少年指導員、スポーツ推進委員等と連携しながら事業を開催するなど、青少年の健全育成に繋がる取り組みも実施した。 ・町民大学については、多様な学習講座の実施に加えて、星空観察会など保護者と子どもが一緒に参加できる講座のように多世代の交流の場ともなる講座を開催し、生涯学習の推進に務めた。 ・地域学校協働活動推進員を中心に、学校と地域とが連携した特色ある活動がなされ、地域の大人と子どもたちが関わる機会の創出につながった。
	今後の課題	地域学校協働活動推進員、各種団体との協力や連携を深めながら持続可能な事業展開を図っていく必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・関係者や関係団体とさらに情報共有を深めながら、LINE等を始めとした情報発信についてより積極的に努めていく必要がある。
	総合評価	B

総合評価：A　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	３－① 生涯学習の振興

施策評価

施策	(2)図書館事業の推進	評価者	生涯学習課
施策内容	赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。 特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明
	1	幅広い世代の利用促進【重点事業】	－	②想定レベル	前年度に引き続き複数の講座やイベントを開催した。いずれも多くの参加・申込みがあり、図書館来館のきっかけ作りとして有効だった。
	2	図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり	－	②想定レベル	定期的な受入れと除籍を行い、資料の鮮度維持に努めた。 小中学校へのリスト送付、町公式FacebookやLINEを活用した発信を行い、新着図書紹介を行った。
	3	町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	－	③限定的	行政資料や「二宮ゆかりの人物」に関する資料の収集、資料展示による紹介、ゆかりの人物講座を行ったが、直接入館者数の増に寄与できたとは言えない。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	図書館年間入館者数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	174,944人	174,944人	174,944人	174,944人		175,000人	B
	実績		138,123人	138,589人	157,065人			
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	読書が好きと回答した児童生徒数（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	70.2%	70.2%	－	72.0%		75.0%	B
		中学校	63.9%	63.9%	－	66.0%		70.0%	
	実績	小学校		72.8%	－	66.4%			
		中学校		65.7%	－	67.9%			
	指標の見直し	コロナの影響が落ち着いた年度の数値を基準値とする。【基準値見直し】 令和６年度学力学習状況調査において設問設定なし。							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	令和6年度に初めて開催した「土曜日のちいちゃいおはなし会」「親子で学ぶおこづかい教室」、「夏休み！　図書館おしごと体験」、「相続・遺言講座」を継続実施しし、来館のきっかけ作りに取り組んだ。また、二宮ゆかりの人物・松浦厚伯爵を紹介する講座を3月に実施したほか、保健センターの事業「でんでんむし」に司書が参加して絵本・紙芝居の紹介を行った。 新着資料のPRとして、町Facebookで新着図書を紹介する定期投稿、新着図書リスト「ラディアンの新しい本」の学校への送付を継続、町公式LINEアカウントで更新情報の配信を行った。 令和7年度は、年間を通じて入館者数は増傾向となり、前年度比113.3%となった。一方で、「読書が好きと回答した児童生徒数」の割合は中学校に置いて増加したが、小学校では低下した。
	今後の課題	ラディアン・図書館の大規模改修期間における利用の維持、効果的な資料紹介を行っていくことが課題である。
	改善点及び今後の方向性	ホームページやSNSを活用した情報発信を行うとともに、ネット利用に不慣れな層へのフォローを行う。
	総合評価	B

総合評価：A　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	３－① 生涯学習の振興

施策評価

施策	(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供	評価者	生涯学習課
施策内容	各種文化・芸術団体やスポーツ団体と連携、協働、支援するとともに、各施設の適切な管理運営に努め、町民が様々な文化や芸術、スポーツに触れる機会を提供します。 また、長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護・保存していくとともに、町民への普及・啓発活動に努め、郷土に対する意識を育みます。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明
	1	文化芸術及びスポーツの振興・支援【重点事業】	－	②想定レベル	文化団体やスポーツ協会と連携し、各種イベントを実施することで、文化や芸術、スポーツに触れる機会に繋げられた。
	2	歴史や文化の保護と普及啓発【重点事業】	－	②想定レベル	民俗芸能のつどいを開催するとともに、文化財に関する展示を行うことで、文化財保護意識の啓発につながった。

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	文化祭来場者数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	4,273人	4,273人	4,300人	4350人		4,500人	B
	実績		4,226人	3,797人	4184人			
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名	ピアノマラソンコンサート参加者数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	80組	80組	80組	80組		80組	B
	実績		74組	80組	75組			
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）③	指標名	民俗芸能のつどい観覧者数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	405人	405人	500人	500人		500人	A
	実績		590人	580人	578人			
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）④	指標名	今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	小学校	52.4%	52.4%	－	－		55.0%	評価不可
		中学校	34.0%	34.0%	－	－		35.0%	
	実績	小学校		48.3%	－	－			
		中学校		23.6%	－	－			
	指標の見直し	令和６年度学力学習状況調査において設問設定なし。						

重要業績評価指標（KPI）⑤	指標名	体育施設（武道館、体育館、運動場、テニスコート、山西プール）の個人入場者数および利用登録団体数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	132,119人 5,094団体	132,119人 5,094団体	135,000人 5,096団体	135,000人 5,097団体		135,000人 5,100団体	B
	実績		139,730人 3,757団体	135,643人 3,667団体	126,795人 3,673団体			
	指標の見直し	温水プールが令和６年３月31日をもって廃止したため、対象施設から削除し、指標を変更した。【対象・基準値・目標値見直し】						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・文化祭やピアノマラソンコンサートの開催、幼児スポーツチャレンジやニュースポーツ体験会などにより、町民が文化や芸術、スポーツに触れる機会の提供に努め、多くの町民の参加や来場に繋がった。 ・民俗芸能のつどいや文化財パネル展の開催などを通じて、地域の歴史や文化の普及啓発に取り組むことで、郷土の歴史・文化に対する理解につながった。 （体育施設の個人入場者数および利用登録団体数：10月末日時点）
	今後の課題	歴史や文化、芸術、スポーツに触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・各種団体と連携、協働するとともに、活動の場となる施設の適切な管理運営に継続して取り組む。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	３－② 社会教育施設の管理運営

施策評価

施策	(１)各施設の適切な維持管理と運営	評価者	生涯学習課
施策内容	長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、生涯学習センターラディアンやスポーツ施設など社会教育施設の計画的な修繕・改修に取り組み、安全安心な環境整備に努めます。 また、生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向け、事前周知も含めた準備の検討を進めるとともに、他の施設についても「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいて、町関係部署と連携した取り組みを進めます。		

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明
	1	安全安心な環境整備と適切な施設運営【重点事業】	－	②想定レベル	不具合箇所の修繕を行うなど、安心安全な環境整備に努めた。
	2	生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向けた検討	－	②想定レベル	大規模改修工事に向け、基本設計を元とした実施設計を始め、休館中の代替施設の案内等も開始した。
			－		
			－		
			－		

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	「二宮町教育等施設長寿命化計画（個別施設計画）における健全度Ｄ判定評価の対応状況（対応済み数／Ｄ判定評価数）						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	0／1	0／1	0／1	0／1	0／1	1／1	D
	実績		0／1	0／1	0／1			
	指標の見直し	温水プールが令和６年３月31日をもって廃止したため、対象施設から削除し、指標を変更した。【対象・基準値・目標値見直し】						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	・不具合箇所の修繕を行い、安全安心な環境整備に取り組んだ。 ・D判定（屋根・屋上）がされている生涯学習センターラディアンは、リニューアル工事に向け、R6年度に作成した基本設計をもとに実施設計の作成に着手した。 ・山西プールは、町民アンケート・パブコメを経て、改修の方向性についてまとめた町営山西プール長寿命化改修基本構想を作成した。
	今後の課題	・安全安心な環境整備に継続して取り組む必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・不具合箇所の早期発見と対処を行い、安全安心な環境整備に取り組む。 ・生涯学習センターの大規模改修工事については、財産経営課及び実施設計業者と連携しながら、工事に向け実施設計を着実に進める。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（ 令和７年度実績）

基本方向性	３－③　社会教育に関する情報発信の強化

施策評価

施策	(１)情報発信の強化				評価者	生涯学習課
施策内容	町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。					
主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用	－	①想定以上	町広報紙が7月号から減ページとなったが、代わる手段として公式SNSを積極的に活用して、情報発信を行った。	
			－			
			－			
			－			

重要業績評価指標（KPI）①	指標名	生涯学習課からの情報発信に基づく新聞等への掲載数						
		基準値	R5	R6	R7	R８	目標値（R9）	R7達成状況
	計画	14件	14件	14件	14件		20件	A
	実績		8件	13件	20件			
	指標の見直し	－						

達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	生涯学習課の事業や取り組みについて、新聞・地元情報誌に7回掲載された。また、生涯学習課の事業が、ケーブルテレビの情報番組で12回、コミュニティFMに1回取り上げられた。 町広報誌の減ページに伴い、町公式LINEによる定期的な発信を行った。 （参考）令和7年度中のSNS町公式アカウント投稿数 Facebook：69件（※）、LINE：82件（※） ※ 毎月25日のラディアン催し物のお知らせはFacebook1件・LINE1件としてカウントした。 ラディアン駐車場利用中止のお知らせ（11/3,11/16）はカウントしていない。
	今後の課題	積極的な情報発信に継続して取り組む必要があるが、情報誌のエリア統合により、二宮町の情報掲載の機会が減少している。
	改善点及び今後の方向性	町公式LINEアカウントを積極的に活用し、効果的な情報発信に努める。
	総合評価	A

総合評価：A　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

第３章　外部評価意見

外部委員意見（2 名分）を挿入

参考資料

■地方教育行政の組織及び運営に関する法律　（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第二十六条
　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

■二宮町教育委員会点検及び評価実施規則
　　公布　平成 26 年 7 月 25 日
　　改正　平成 27 年 3 月 27 日
（趣旨）
第１条　この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条の規定に基づき、二宮町教育委員会(以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。
（点検及び評価の実施）
第２条　点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。
（点検及び評価の対象）
第３条　点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。
（評価委員）
第４条　教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員(以下「評価委員」という。）を置く。
２　評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。
３　評価委員は２名とし、教育に関して公正な意見を述べることが期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。
（評価委員の任期）
第５条　評価委員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。
２　評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（点検及び評価の手順）
第６条　点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第３条に掲げる事項について行うものとする。

２　教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会議に諮るものとする。

３　教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

（点検及び評価結果の活用）

第７条　点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

（その他）

第８条　この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

■二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

公表　平成26年8月29日

（趣旨）

第１条　この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

（評価事項）

第２条　評価事項は、次に掲げる項目とする。

（１）教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況

（２）教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み

（３）その他、教育委員会が特に記載するもの

（評価の観点）

第３条　評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

（評価の基準）

第４条　点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

（報告書の作成要領）

第５条　実施規則第６条第３項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、施策評価シート（別紙１）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

（１）点検評価対象年度の教育委員会基本方針

（２）点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧

（３）第２条で定める評価事項に関する項目

（４）評価委員からの点検及び評価意見

（公表）

第６条　点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

（その他）

第７条　この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附　則

この要領は、公表の日から施行する。

附　則

この要領は、公表の日から施行する。

附　則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙１

施策評価シート（　　年度実績）

基本方向性	

施策評価

施策		評価者	
施策内容			

主な関連事業		予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明
	1				
	2				
	3				

重要業績評価指標（KPI）①	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値（　年）	年達成状況
	計画							
	実績							
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）②	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値（　年）	年達成状況
	計画							
	実績							
	指標の見直し	－						

重要業績評価指標（KPI）③	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値（　年）	年達成状況
	計画							
	実績							
	指標の見直し	－						

達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】		
	成果	
	今後の課題	
	改善点及び今後の方向性	
	総合評価	

総合評価：A　目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B　おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C　取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D　取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

資料 No.2

令和９年　二宮町 20 歳のつどい開催要項

1. 目　的

　成人の日にあたり、新たに 20 歳となった人の成長を祝うとともに、成人としての社会的責任を改めて自覚してもらうことを目的とする。

2. 主　催

（式典）二宮町・二宮町教育委員会
（20 歳のつどい実行委員会企画事業）二宮町教育委員会・20 歳のつどい実行委員会

3. 日　時

令和９年１月 11 日（月・祝）
（式典）11 時 00 分～11 時 30 分
（20 歳のつどい実行委員会企画事業）11 時 35 分～13 時 00 分

4. 会　場

二宮町生涯学習センター「ラディアン」ホール

5. 対象者

平成 18 年4月2日から平成 19 年4月1日までに生まれた人
・町外在住の方も参加可（事前に生涯学習課へ申込み）
※町広報及びホームページにて周知を行います。

6. 日　程

（1）式典　司会：20 歳のつどい実行委員
・主賓あいさつ（二宮町長／二宮町教育長）
・来賓あいさつ（二宮町議会議長／県議会議員）
・20 歳の決意
・お礼のことば

（2）20 歳のつどい実行委員会企画事業　司会：20 歳のつどい実行委員

7. 協　力

二宮町青少年指導員連絡協議会

資料 No.3

二宮町立体育館ＬＥＤ照明設備賃貸借事業に係る受託候補者選定委員会設置要綱

（設置）

第１条　二宮町立体育館ＬＥＤ照明設備賃貸借事業に係る受託候補者を選定するため、二宮町立体育館ＬＥＤ照明設備賃貸借事業に係る受託候補者選定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　委員会は、次に掲げる事項を審議する。

（１）　二宮町立体育館ＬＥＤ照明設備賃貸借事業に係る公募型プロポーザル実施要領で定める応募者の審査に関すること。

（２）　その他町長が必要と認める事項に関すること。

（組織）

第３条　委員会は、町長が別に定める委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

２　委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第４条　委員会の会議は、委員長が招集する。

２　委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

３　委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによるものとする。

（審議の結果）

第５条　委員長は、第２条の審議事項が終了した都度、その結果を町長に報告しなければならない。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、教育部生涯学習課において処理する。

（委任）

第７条　この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は、令和８年８月３日から施行する。

（要綱の失効）

２　この要綱は、二宮町立体育館ＬＥＤ照明設備賃貸借事業の契約の締結が完了した日の翌日にその効力を失う。

令和８年８月定例教育委員会議予定

１　日　時　　令和８年８月２８日（金）９時３０分から

２　場　所　　町民センター　２Ａクラブ室

３　付議事項

４　報告・協議事項
（１）教育相談および教育支援室の状況について
（２）コミュニティ・スクールの運営状況について

※主な行事
８月　５日（水）　１３時００分　ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい
８月２８日（金）　　９時３０分　教育委員会議定例会
１３時３０分　総合教育会議